

塩谷郡市
医師会
リレーコラム



◆ご意見、ご質問、取り上げてほしい病気などありましたら、〒329-1312 さくら市桜野1319-3 さくら市氏家保健センター内 塩谷郡市医師会までお便りをお寄せください。
◆問い合わせ／塩谷郡市医師会 ☎028(682)3518

第7回 レビー小体型認知症(DLB)について

松村 茂
医療法人誠之会氏家病院院長
(さくら市)

我が国での65歳以上の方のうち、認知症の人は2012年時点で約462万人に上ることは先にお話ししましたが、その認知症にもいくつかのタイプがあります。最近まで日本で認知症と言えばアルツハイマー型認知症、脳血管性認知症が二大認知症とされてきましたが、今回お話しするレビー小体型認知症(Dementia with Lewy Bodies:DLB)は、1976年に日本で発見され世界に知られるようになった認知症の1つで、現在ではアルツハイマー型認知症に次いで多い認知症であり、これも含め三大認知症と言われています。

それではレビー小体型認知症(DLB)とは、どんな認知症なのでしょう？ここでは、症状を中心にお話しいていきたいと思えます。もちろん、認知症の1つですから物忘れの症状は出ますが、特徴的なのは、初期より妄想や幻覚、特に幻視が現れることです。幻視とは、実際に存在していないものがあるものとして生々しく見える症状で、「死んだ親が枕元に現れる」「壁に虫が這っている」などと訴えます。また、ハンガーに掛かったジャケットを見て「誰か人がいる」と錯覚を起

こすこともあります。物忘れの症状よりも幻覚症状が目立つと、認知症とは思われずに違う精神疾患に誤診されてしまう可能性もあります。症状は変動が大きく、日によって、時間によって平穏なときもあれば、興奮・錯乱など不安定なときもあるのも特徴の一つです。また、もう一つの大きな特徴は、パーキンソン病のような歩行の障害や体のこわばりを伴うことで、そのために転倒の危険性はかなり高く、けがや骨折を起こし寝たきりになってしまうことがアルツハイマー型認知症の方より10倍も早いといわれています。その他の特徴としてはレム睡眠行動障害として、睡眠中に大声で怒鳴ったり、叫んだり、暴れたりする異常行動、自律神経症状として、立ちくらみや便秘、尿失禁、汗を異常にかく等、病初期にうつ状態が現れやすい、などがあります。

以上のような症状があり、この病気かなと思われるなら、ぜひ専門医を受診してください。適切な治療を受けることで症状を改善できる可能性があり、介護する方にとっても、介護がずいぶん楽になるかもしれません。

ねんきん

国民年金の手続きはお済みですか？

会社を退職されたときは国民年金の届出が必要です！

20歳以上60歳未満の方は、国民年金への加入が法律で義務付けられています。会社を退職されたときは、第2号被保険者(厚生年金)から第1号被保険者(国民年金)への変更の届出が必要となります。

※ 第3号被保険者(第2号被保険者に扶養されている配偶者)であった方についても、第3号被保険者から第1号被保険者への変更の届出が必要となります。

○手続き窓口

矢板市市民課で手続きしてください。

○手続きに必要なもの

①年金手帳 ②資格喪失証明書や退職証明書 ③認印(本人が申請する場合は不要)
※同世帯で代理申請する場合は、代理人の身分証明書(運転免許証など)も必要です。

保険料の免除制度があります！

保険料を納めることが困難な場合には、申請によって保険料の納付が免除される制度があります。また、退職(失業)による特例免除もあります。

問い合わせ／大田原年金事務所 ☎(22)6313

矢板市市民課 ☎(43)1117 FAX(43)5962

すこやか矢板21シリーズ⑥4 子宮がん～検診で早期発見を！～

3月は「女性の健康づくり月間」です。

「まだ若いから」「恥ずかしいから」「面倒だから」と子宮がん検診を受けずにいませんか？子宮がんは、早期に発見できれば治る可能性が高いがんです。早期に発見して治療につなげられるよう、がん検診を

受けましょう。

子宮がん検診は、20歳以上の方が対象です。現在、平成26年度の検診の申し込みを受け付けています。検診をご希望の方は、健康増進課までお申し込みください。

《子宮がん検診について》

実施方法	集団検診	個別検診
実施期間	5月～11月	年間を通じて
検査内容	子宮頸部検診	子宮頸部検診 子宮体部検診
検査料金	700円	頸部700円、 頸部・体部2,200円

※個別検診で受診できる医療機関は、矢板市と契約している医療機関です。

※70歳以上の方は個人負担はありません。

《子宮がんとは・・・》

子宮がんには、子宮頸がんと子宮体がんの2種類があり、発生場所や特徴が異なります。

子宮頸がん

- ・子宮頸部(膣に近い部分)に発症する
- ・ヒトパピローマウイルスの感染が主な原因
- ・30～40歳代に多い
- ・20～30歳代でも急増している

子宮体がん

- ・子宮の奥にある体部の内膜に発症する
- ・閉経後に発症することが多い
- ・50～60歳代に多い

早期発見が決め手の“子宮がん”
多くの方に検診を受けて
いただきたいナリ！！



問い合わせ／健康増進課 ☎(43)1118

「歯のはなし」その④2

口の臭いで不快を感じたことはありませんか？

口臭には大きくわけて2つあります。

1つは病的口臭・・・虫歯や歯周病など歯科的な問題があったり、歯石がたっぷりついていると強くなる口の臭い。内科的な病気の症状としてあらわれることもあります。

2つめは生理的口臭・・・老若男女、健康状態とは関係なく起こる口の臭い。誰でも生活のリズムや習慣、精神状態に応じて臭いが発生します。

誰にでもあるので『実は口の臭いを気にしている』と言う人も落ち込まないで大丈夫です。大切なのは、どういう時に生理的口臭が起きやすいかということを知ることです。

主に生理的口臭が起きやすいのは、

- 1) 朝起きたばかりの時。寝てる間は口の中の細菌が増えやすく、口も渇きやすいからです。
- 2) 空腹の時。
- 3) 精神的な不安や緊張を感じる時。
- 4) 疲れがたまった時。
- 5) 思春期の時期。ホルモンの変化によって引き起こされます。
- 6) 食べ物(ニンニクなど)、アルコールを摂取した時。
- 7) 女性の場合、生理や妊娠をしている時。

生活のさまざまな場合に関係してくるのが口臭です。歯に関する疑問や質問は健康増進課 ☎(43)1118